

平成22年4月 1日から
平成23年3月31日まで

平成22年度（第64年度）
事業報告書・決算書

財団法人 三越厚生事業団

平成22年度（第64年度）事業報告

本年度は 新法に基づく新たな公益財団法人移行認定申請を実施する大事な年度でありました。

10月1日に「公益法人移行認定申請書」を正式に東京都知事宛提出し、その後所官庁との折衝を重ねた結果、2月15日に東京都公益認定等審議会から当事業団を公益法人として認定する旨の答申がだされ、3月22日に東京都知事より「認定書」の交付を受けました。

当事業団が永年に亘って実施しております「生活習慣病を撲滅する」為の、健診事業・診療事業・医学助成事業・健康増進普及事業などの全ての事業が公の利益につながる「公益目的事業」である、と認められたわけであります。

これにより、平成23年4月1日の新年度から、現在の財団法人を一旦解散し 新たに

「公益財団法人三越厚生事業団」として設立登記を行い、新法に依る公益法人としてスタートをきることになりました。

1947年の財団法人設立以来、新しい歴史的転換を図る重要な節目の年を計画通り完遂できたことは大きな喜びであります。当事業団が今後 果たすべき社会的責任の大きさをしっかり認識し、更なる発展を目指して歩み続けなければならない、と決意を新たにしております。

次に、公益事業の更なる強化・充実に向けた取り組みであります。 「社会福祉施設への無料健診研究事業」は、2年目を迎えて前年の健診結果から判明した事柄に基づく改善事項の指導を徹底するなどの取り組みを強化し、一定の成果を収めました。また 健康セミナー・健康講座は内容の更なる充実を図り、参加者の健康生活に役立つ情報と指導の強化を図りました。特に初めて実施した、女子栄養大学の監修と京王プラザホテル総料理長の調理とお話による「減塩を極めた食事実践教室」は参加者の高い評価を得ることができました。

最後に、当事業団の対処すべき課題であります、

最大の課題は、この10年続いている事業団収支の改善、赤字構造からの脱却であります。

本年は 昨年度に引き続きある健診先の健診制度変更に伴う大幅な収入減が生じ、それを他で補填することが困難を極め、赤字幅を増大させる結果となりました。

人件費、材料費、施設設備投資費、借家料など全ての支出費用を抜本的に見直すとともに、公益法人として当事業団が果たすべき健診・診療を含めた全体的な公益事業バランスを整理し直して費用配分するなど、平成23年度からの3年間で事業収支を黒字化するための構造改革3ヶ年計画を実施に移していく所存であります。

平成22年度事業報告

I 寄附行為事項

1. 生活習慣病の予防、診断、治療に関する研究事業（寄附行為第4条第1号事業）

当事業団役員並びに職員による研究活動

(1) 臨床的研究の発表

平成21年度に実施した各種健診の統計的調査と観察成績を「事業年報」第37号に発表し、各職域健康保険組合及び関連財団法人等200団体へ配布した。

(2) 平成21年度各部門研究とその発表会の開催

○実施日 平成22年4月28日（水）

○会場 5階 三越総合健診センター

○発表 発表は11題で審査の結果以下の3題について表彰した。

優秀賞 医・薬科 細合 浩司

「生活習慣病健診における糖代謝判定異常例のパラメータ推移
～MSでの検討を含む」

優秀賞 医・薬科 丸田 陽子

「H21年度インフルエンザワクチンに関する調査」

優秀賞 事務局 長津 秋彦

「健診・診療事業収支からみる事業団のあゆみII」

(3) 当事業団医師等職員の研究成果発表は以下のとおり。

①国際学会における演題発表

氏名	職種	参加月	名称	演題	開催地
Haruo Nakamura	医師	6月	78th European Atherosclerosis Society(EAS) Congress 2010.June20-23	The"Beyond Cholesterol-Lowering Activity" of Pravastatin. Analysis of Three Overlapping Dose Groups	ドイツ
K.Mizuno Haruo Nakamura	医師	6月	78th European Atherosclerosis Society(EAS) Congress 2010.June20-23	Non High-Density Lipoprotein Cholesterol Is Better Predictor For Coronary Risk,And Is Useful To Evaluate The Efficacy Of Statin Therapy	ドイツ
Haruo Nakamura	医師	11月	American Heart Association 2010 2010.Nov14-17	Importance of multifactorial risk management under pravastatin	アメリカ
K.Mizuno, Y.Ohashi, Haruo Nakamura	医師	11月	American Heart Association 2010 2010.Nov14-17	The risk of new-onset diabetes associated with pravastatin and relationship between pravastatin and diet adherence	アメリカ

②当事業団医師の外部講演会（医師、医療従事者等への啓蒙活動）

氏名	参加月	名称	演題	開催地
横山 雅子	5月	第83回日本産業衛生学会ランチョンセミナー	慢性頭痛の診断と治療～産業医が担う頭痛診療	福井
山下 毅	6月	西新宿保健センター「血液さらさら・エコボディ教室」	脂質異常症の病態と予防（コレステロールと中性脂肪）	東京
細合 浩司	6月	製薬会社社員教育勉強会	脂質管理についての知識の取得	東京
細合 浩司	11月	製薬会社アドバイザーミーティング	糖尿病の診断と治療	東京

③学会における演題発表

氏名	参加月	名称	演題
近藤 修二	4月	第107回日本内科学会講演会	Metabolic syndrome(MS)の構成項目数による心機能及び insulin 抵抗性の検討
鈴木 則宏 横山 雅子 他	5月	第51回日本神経学会総会	大規模疫学調査による大学病院職員における頭痛の実態
横山 雅子	5月	第51回日本神経学会総会	片頭痛と緊張型頭痛の飲酒とフラッシング反応と二日酔い
細合 浩司	8月	第51回日本人間ドック学会学術大会	生活習慣病健診における糖代謝判定異常例のパラメータ推移～メタボリックシンドロームでの検討を含む
船津 和夫 山下 毅 他	8月	第51回日本人間ドック学会学術大会	非肥満者と肥満者における脂肪肝とインスリン抵抗性の検討
横山 雅子	11月	第38回日本頭痛学会総会	甲状腺、副甲状腺手術により片頭痛様の頭痛が著しく軽減した2例
船津 和夫 他	1月	日本総合健診医学会第39回大会	肥満度別にみた脂肪肝とインスリン抵抗性の検討
武田宗和、山田充 船津和夫 他	2月	第16回日本集団災害医学会総会・学術集会	共助を意識した一般市民と地域医療従事者が行う応急救護所における多数傷病者対応訓練
中村 治雄	2月	第11回動脈硬化教育フォーラム 基調講演	コレステロール値のみかたーその変りかたとこれからー

④当事業団医師の発表論文

論 文 名	氏 名	掲 載 雑 誌 名
High plasma levels of matrix metalloproteinase-8 in patients with unstable angina	Y Momiyama, Ohmori R, H Nakamura, et al	Atherosclerosis 2010; 209: 206-210
Statins and risk of incident diabetes: a collaborative meta-analysis of randomised statin trials.	N Sattar, D Preiss, H Nakamura, et al.	Lancet 2010; 375:
Associations between plasma osteopontin levels and the severities of coronary and aortic atherosclerosis	Y Momiyama, F Ohsuzu, H Nakamura, et al	Atherosclerosis 2010; 210: 668-670
Associations between plasma C-reactive protein levels and the severities of coronary and aortic atherosclerosis	Y.Momiyama,F.Ohsuzu, H Nakamura, et al	J Atherosclerosis Thrombosis 2010;17:460-467
Transient increase in contraction observed during early global ischemia in langendorff perfused rat heart is glycolysis dependent.	E Takayama, M Bessho, H Nakamura, et al.	J Natl Def Med Coll 2010; 35: 184-194
Efficacy and safety of more intensive lowering of LDL cholesterol: a meta-analysis of data from 170,000 participants in 26 randomised trials	Cholesterol Treatment Trialists' (CTT) Collaboration (H Nakamura, et al)	Lancet 2010; 376:1670-1681
EPA とセルフメディケーションの根拠	中村 治雄	メディカル朝日 2011:40(別冊):3
革新的薬剤はこうして生まれた (プラバスタチン)	中村 治雄.	Nikkei Med 2011:518:66-69
日本の臨床介入試験—MEGA Study—	水野杏一、中村治雄	The Lipid 2011;22:52-57
肝硬変や肝臓ガンを招く危険性のある脂肪肝をコーヒーが予防すると調査で判明	船津 和夫	安心 (マキノ出版) 96-97、2010.6
健康「異常なし」に油断しちゃダメ	船津 和夫	R25 (リクルート発行) 274 : 12, 2010.10
健診票から読み解く! 本当の健康状態	船津 和夫	大人のカラダ (学研パブリッシング) 2 : 71-75, 2011.4
診断に苦慮する片頭痛	横山雅子(分担執筆)	症例から学ぶ戦略的片頭痛診断治療 p101-107,2010 (南山堂)

第1号事業 総計 事業費

4, 079千円

予 算 4, 570千円

2. 生活習慣病その他重要な疾病の予防及び健康の保持増進に関する事業（同条第2号事業）

（1）集団健診事業（事業費 408,333千円）

①集団健診

- ・東京都内企業・団体（約168社）の従業員を対象とした総合健診及び家庭の主婦を中心とした女性健診を実施し、生活習慣病その他重要な疾病の予防及び早期発見に努めるとともに、健診・診療等で蓄積した諸データの分析、研究を行い、その成果を活用して健康教育、健康相談等を積極的に進め、生活習慣病の予防、撲滅の啓発に努めた。
- ・平成22年度の実施状況は次のとおり。本年度は大手健診先の健保統合による健診制度変更の影響もあり、受診者総数の減少を余儀なくされた。

<集団健診>

○生活習慣病健診	9,222名（前年度 10,696名）
○女性健診	1,907名（前年度 2,472名）
○生活習慣病健診特別コース	80名（前年度 90名）
計	11,209名（前年度 13,258名）

②社会福祉施設無料巡回健診

- ・高齢者の健康維持、健康増進のための研究に資するため、本年度も昨年と同じ都内老人ホーム3施設を対象とした血液検査、心電図検査、胸部X線検査などの一般老人健診を、医療法人社団 ころとからだの元氣プラザ の協力を得て、実施した。

- ・実施施設は次のとおり。（3施設、152名を受診）

- イ. 社会福祉法人邦友会 特別養護老人ホーム「新宿けやき園」
(11/19・12/24実施、94名)
- ロ. 社会福祉法人ケアネット 特別養護老人ホーム「やよいほうむ」
(11/25・12/21実施 28名)
- ハ. 社会福祉法人はとせふ特別養護老人ホーム「はるかぜ」
(11/25・12/27実施 30名)

（2）生活習慣病健診報告懇話会（事業費 541千円）

- ・本年度は、各事業所で関心の高い「メンタルヘルス」をテーマに取りあげて、企業側から見た使用者責任やその対策、就業規則の整備等のリスク管理面を中心に講演と事業主による事例紹介を行い、意見交換ならびに交流を深めた。

実 施 日 : 平成22年12月2日（木）
場 所 : エステック情報ビル21階「A会議室」、4階「AGORA」
参 加 人 数 : 23事業所 35名
報 告 会 : メンタルヘルスについて
講 師 / 垣内 博成氏
(心療内科医・医療法人社団ころとからだの元氣プラザ)
メンタルヘルスに対する事業主としての取組み事例のご紹介
報告者 / 山下 章公氏 (三井リハウス東京(株)人事グループリーダー)

2号事業 総計 事業費 408,874千円 予 算 436,650千円

3. 生活習慣病その他重要な疾病の予防、診断、治療に関する助成事業（同条第3号事業）

(1) 医学研究助成

生活習慣病その他重要な疾病の予防・撲滅に寄与する医学研究を発展させることを目的に東京都内並びに東京都近隣の大学医学部、医学研究施設、病院等を対象に生活習慣病とその克服を中心とした研究課題について広く公募し、助成対象者に助成金を交付した。本年度の応募総数は32件で、そのなかより厳正な審査を経て受賞者5名を決定した。

●第38回三越医学研究助成（助成金総額 1050万円）

平成22年度三越医学研究助成実行委員会開催

開催日：研究課題決定 4月23日（金）

審査員決定 9月17日（金）

助成対象者決定 10月15日（金）

①審査員

審査委員長 常務理事 中村 治雄

審査委員 三越診療所 所長 船津 和夫

三越診療所 副所長 山下 毅

日本医科大学内科学講座 循環器・肝臓・老年・総合病態部門

教授 水野 杏一

東邦大学医療センター大森病院 糖尿病・代謝・内分泌センター

センター長 芳野 原

東京都済生会中央病院 副院長 渥美 義仁

兵庫医科大学内科学消化管科 教授 松本 誉之

広島大学医学部消化器内科 教授 田中 信治

②研究課題の決定

研究課題1 「スタチンと pleiotropic effects」

研究課題2 「日本人における糖尿病の特徴とその予防と治療」

研究課題3 「消化管疾患の診断と治療の新しい取り組み」

③選考会

上記テーマ毎に専門分野の審査員による選考を行った。

選考に当っては、応募者の研究機関名、氏名をブラインドにして評価を行い、総合点により上位を選考し助成金額案を付して理事長に推薦のうえ決定した。

④贈呈式

11月11日（木）に三越日本橋本店6階「三越劇場」にて開催の「第30回健康セミナー」と併せて贈呈式を行い、助成金を交付した。

⑤助成対象者は以下のとおり

第38回 三越医学研究助成対象者

氏名	所属機関	課題	研究課題	助成金
瀬尾 誠	埼玉医科大学 医学部 基礎医学部門生化学 助教	1	スタチンによるヒト PPAR α 発現 および活性化調節機構の解明	200万円
田村 好史	順天堂大学 医学部 内科学代謝内分泌学講座 准教授	2	非肥満者における異所性脂肪蓄積と インスリン抵抗性に関する研究	200万円
矢作 直也	東京大学大学院医学系研究科 糖尿病代謝内科・分子エネルギー代謝学講座 特任准教授	2	糖尿病の早期診断・早期治療のための 新たな枠組みの社会実験	250万円
池上 恒雄	東京大学医科学研究所附属病院 ゲノム診療部 准教授	3	進行大腸癌に対する抗 EGF 受容体抗 体療法効果予測のための新規バイオ マーカーとしての RAS GTPase activating protein(RASGAP) 遺伝子 RASAL1 の重要性の検討	200万円
細江 直樹	慶応義塾大学 内視鏡センター 助教	3	カプセル内視鏡を使用した低用量ア スピリン内服患者の小腸病変サーベ イランス(多施設共同研究)	200万円

- (注) 研究課題1 「スタチンと pleiotropic effects」
 研究課題2 「日本人における糖尿病の特徴とその予防と治療」
 研究課題3 「消化管疾患の診断と治療の新しい取り組み」

(2) 海外留学渡航費助成

海外での医学研究や医療技術習得を志す若手医学者で且つ留学先受入研究機関が決まっている者、若しくは海外留学中で留学受入先の研究指導者の推薦がある者に対し、留学費用の一部として渡航費の助成を行った。本年度は、選考の上5名の受賞者を決定し夫々に助成金を交付した。

●第11回海外留学渡航費助成(助成金総額 300万円)

第11回 海外留学渡航費助成対象者

氏名	所属機関	留学先	研究課題	助成金
大野 由夏	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 麻酔・生体管理学分野 特任研究員	オールホー大学 感覚・運動相 互作用センタ ー	顎顔面領域の慢性疼痛疾患患者 における内因性疼痛抑制機構の 解明	60万円
河尻 澄宏	順天堂大学医学部脳神経 内科大学院生	カリフォルニア 大学ロサンゼ ルス校	Mitochondrial fission/fusion mechanism in mitophagy induced by PINK1/parkin	60万円
藤波 芳	東京医療センター 感覚器センター 視覚研究部	英国モアフィールド 眼科病院	黄斑部遺伝性疾患の臨床診断と 遺伝子治療を目標とした分子遺 伝学的解析	60万円
柿本 一城	国立国際医療研究センター研 究所消化器疾患研究部研究生	ハーバード大学 医学部病理学	糖鎖認識分子を標的とした炎症 性腸疾患に対する新規治療法の 開発	60万円
井下 綾子	順天堂大学医学部 耳鼻咽喉科学教室 助教	クリーブランド クリニック ラナ ー研究所	癌遺伝子増幅のメカニズムーヒ トゲノムの特異的繰り返し配列 の役割の解析	60万円

第3号事業 総計 事業費 14,807千円 予算 24,400千円

4. 保健衛生思想の普及（同条第5号事業）

（1）健康セミナー・健康講座の開催

「生活習慣病」をテーマに、新聞等の媒体を介して広く一般の方々から参加を募り健康セミナー及び健康講座を開催した。

＜平成22年度開催結果＞

回数：8回（健康セミナー3回・健康講座5回）

前年／11回（健康セミナー4回・健康講座7回）

参加者数：延べ 1,734名（前年 2,466名）

内容は以下のとおり。

○健康セミナー

①第31回健康セミナーを開催した。

テーマ：「生活習慣病から身を守るには」

開催日時：5月7日（金） 午後1時00分～3時30分

会場：三越日本橋本店6階「三越劇場」

主催：財団法人三越厚生事業団

後援：日本動脈硬化学会・日本人間ドック学会・毎日新聞社

第1部講演：演題「メタボリックシンドロームを再考する」

講師 山下 毅（三越診療所副所長）

第2部講演：演題「こころの健康について」

講師 笠井 清登氏（東京大学医学部附属病院精神神経科教授）

参加人員：295名

②第33回健康セミナーを開催した。

テーマ：「生活習慣病から身を守るには」

開催日時：11月11日（木） 午後1時00分～2時20分

会場：三越日本橋本店6階「三越劇場」

主催：財団法人三越厚生事業団

後援：日本動脈硬化学会・日本人間ドック学会・毎日新聞社

講演：演題「糖尿病患者さんの脂質コントロール」

講師 多田 紀夫氏

（東京慈恵会医科大学附属柏病院総合診療部教授）

参加人員：212名

③第34回健康セミナーを開催した。

テーマ：「生活習慣病から身を守るには」

開催日時：2月22日（火） 午後1時00分～3時50分

会場：三越日本橋本店6階「三越劇場」

主催：財団法人三越厚生事業団

後援：日本動脈硬化学会・日本人間ドック学会・毎日新聞社

第1部講演：演題「大腸の病気－大腸がんを中心に－」

講師 近藤 泰理氏

（東海大学医学部消化器外科学教授・東海大学医学部附属東京病院副院長）

第2部講演：演題「糖尿病診療の最新情報」

講師 細合 浩司（三越診療所部長）

参加人員：369名

○健康講座

①第27回健康講座を開催した。

開催日時：6月25日（金） 午後6時30分～7時50分

会場：新宿スタジオアルタ7階「アルタスタジオ」

主催：財団法人三越厚生事業団

後援：日本人間ドック学会

講演：演題 「何とかしよう！この頭痛」
講師 横山 雅子（三越診療所部長）

参加人員：82名

②第28回健康講座を開催した。

開催日時：7月22日（木） 午後2時00分～3時30分

会場：野方区民ホール

主催：財団法人三越厚生事業団

後援：日本人間ドック学会

講演：演題 「コーヒーなど嗜好品と健康長寿」
講師 船津 和夫（三越診療所所長）

参加人員：165名

③第29回健康講座を開催した。

開催日時：10月12日（火） 午後2時00分～3時30分

会場：江東区総合区民センター「レク・ホール」

主催：財団法人三越厚生事業団

後援：日本人間ドック学会

講演：演題 「もしかして私も…？糖尿病の診断基準が変わりました！」
－健康診断から見えてくる糖代謝・糖尿病治療の今－
講師 細合 浩司（三越診療所部長）

参加人員：131名

④第30回健康講座を開催した。

開催日時：12月1日（水） 午後2時00分～3時20分

会場：セシオン杉並

主催：財団法人三越厚生事業団

後援：日本人間ドック学会

講演：演題 「息切れ・むくみ」－心不全の黄色信号です！－
講師 近藤 修二（三越診療所部長）

参加人員：147名

⑤第31回健康講座を開催した。

開催日時：1月26日（水） 午後2時00分～3時30分

会場：タワーホール船堀

主催：財団法人三越厚生事業団

後援：日本人間ドック学会

講演：演題 「脳卒中を防ごう！！」－危険な頭痛を見逃さない！－
講師 横山 雅子（三越診療所部長）

参加人員：237名

⑥第32回健康講座（3月17日開催予定）を中止した。（東日本大震災発生のため）

（2）健康イベント等の自主開催

- ・喫食体験や食事・栄養指導、健康に関する講演などをトータルで絡めた体験学習型の自主イベントを、健康セミナー（第32回）の一環として、本年9月に初めて開催した。

テーマ：「減塩食の意義と健康」

開催日時：9月9日（木） 午前11時00分～午後1時00分

会場：新宿京王プラザホテル 4階「花」

主催：財団法人三越厚生事業団

協賛：女子栄養大学

第1部講演：演題「減塩についてのお話し（食塩の健康に及ぼす影響）」

講師 中村 治雄（三越厚生事業団常務理事・防衛医科大学校名誉教授）

第2部 : 「減塩食を楽しむ会」
料理の解説 (素材や調理法)
講師 市川 博史氏 (京王プラザホテル総料理長)
参加人員 : 96名

(3) 生活習慣病予防の啓発、広報活動

- ①保健衛生思想普及のため、広報活動を次のとおり実施した。
- ・新宿区が発行する区民向け広報誌「暮らしのガイド2010年版」に当事業団の公益活動ならびに生活習慣病予防の啓発広告を掲載した。(2010年3月までに全戸配布。2012年1月までの転入者に配布。)
 - ・当施設が入居するエステック情報ビル内のプラズマディスプレイを利用し、生活習慣病予防ならびに健康診断の受診促進を図った。

②事業年報の作成

平成21年度(平成21年4月～平成22年3月)に実施した集団健診、診療等の統計的調査と観察成績を「事業年報」第37号に掲載し、職域健康保険組合及び企業関係者、医療関係団体(病院・研究機関)、関連社団・財団法人等に配布した。

第5号事業 総計 事業費 15,151千円 予算 21,460千円

5. 診療施設の設置運営(同条第6号事業)

診療患者数延数、職域入社、定期健診延数は以下のとおりである。

延総数 25,282名(前年度 26,046名)

①延数内訳

内科	20,100名(前年度 20,135名)
予防注射	790名(前年度 1,215名)
職域入社・定期健診	77社又は団体 3,502名(前年度 3,929名)
新宿区・中野区成人病健康診査	890名(前年度 767名)
合計	25,282名(前年度 26,046名)

②種目別内訳とその適用患者数

国民健康保険	8,973名(前年度 8,907名)
社会保険(政府管掌)	1,473名(前年度 1,489名)
社会保険(組管掌)	8,902名(前年度 9,040名)
社会保険(その他)	571名(前年度 524名)
自費	181名(前年度 175名)
職域入社・定期健診	3,502名(前年度 3,929名)
新宿区・中野区成人病健康診査	890名(前年度 767名)
合計	24,492名(前年度 24,831名)

II 管理・運営事項

1. 理事会・評議員会の開催

- ①開催日 平成22年5月25日(火)
場 所 日本橋三越本店会議室(日本橋三越本店新館13階)
<評議員会>
議 題 第1号議案 平成21年度事業報告書及び決算に係る正味財産増減計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書、財産目録並びに収支計算書案審議の件
第2号議案 理事7名選任の件
第3号議案 監事2名選任の件
第4号議案 定款の附則に掲名する最初の会計監査人選任の件
第5号議案 定款の附則に掲名する最初の代表理事、業務執行理事選任の件
第6号議案 定款変更の案承認の件
【報告事項】 最初の評議員選任の件
<理事会>
議 題 第1号議案 平成21年度事業報告書及び決算に係る正味財産増減計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書、財産目録並びに収支計算書案承認の件
第2号議案 評議員11名選任の件
第3号議案 定款の附則に掲名する最初の会計監査人選任の件
第4号議案 定款の附則に掲名する最初の代表理事、業務執行理事選任の件
第5号議案 定款変更の案承認の件
【報告事項】 最初の評議員選任の件
- ②開催日 平成22年 9月28日(火)
場 所 日本橋三越本店会議室(日本橋三越本店新館13階)
<評議員会>
議 題 第1号議案 「移行認定申請書」等申請書類の主要事項承認の件
(1) 公益法人への「移行認定申請書(案)」について
(2) 三越厚生事業団内部規程の改定案について
【報告事項】 三越厚生事業団『定款案』(5/25承認)の一部修正について
<理事会>
議 題 第1号議案 「移行認定申請書」等申請書類の主要事項承認の件
(1) 公益法人への「移行認定申請書(案)」について
(2) 三越厚生事業団内部規程の改定案について
【報告事項】 三越厚生事業団『定款案』(5/25承認)の一部修正について
- ③開催日 平成23年3月23日(水)
場 所 日本橋三越本店会議室(日本橋三越本店新館13階)
<評議員会>
議 題 第1号議案 平成23年度事業計画案及び収支予算案審議の件
【報告事項】
(1) 新公益財団法人移行申請の進捗状況と今後のスケジュール
(2) その他

<理事会>

議 題 第1号議案 平成23年度事業計画案及び収支予算案承認の件

【報告事項】

- (1) 新公益財団法人移行申請の進捗状況と今後のスケジュール
- (2) その他

2. 公益財団法人移行認定関連

- ①平成22年10月1日 東京都へ電子申請方式にて「移行認定申請書」を提出。
- ②平成23年3月22日 東京都より公益認定行政処分、認定書の交付。
- ③平成23年4月 1日 特例財団法人移行による公益財団法人設立登記。財団法人解散登記。

3. 報告事項

- ①外部監査実施 実施日：平成22年 5月12日（水）～ 14日（金）
監査人：アーク監査法人

- 実施日：平成22年 9月21日（火）～ 22日（水）
監査人：アーク監査法人

- 実施日：平成23年 2月16日（水）～ 18日（金）
監査人：アーク監査法人

平成22年 4月 1日から
平成23年 3月31日まで

平成22年度（第64年度）

収 支 計 算 書

財団法人 三越厚生事業団

収支計算書総括表

平成22年4月 1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目	合計	一般会計	特別会計	内部取引消去
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	136,678,320	136,678,320	0	0
② 特定資産運用収入	3,999,924	3,999,924	0	0
③ 事業収入	539,413,726	318,291,533	221,122,193	0
④ 補助金等収入	15,000,000	15,000,000	0	0
⑤ 雑収入	2,764,028	1,848,230	915,798	0
⑥ 他会計からの繰入金収入	0	12,684,039	0	△ 12,684,039
事業活動収入計	697,855,998	488,502,046	222,037,991	△ 12,684,039
2. 事業活動支出				
① 研究事業費支出	4,079,965	4,079,965	0	0
② 低額集団健診事業費支出	406,967,991	406,967,991	0	0
③ 健診報告懇話会事業費支出	541,085	541,085	0	0
④ 巡回無料健診費支出	1,365,585	1,365,585	0	0
⑤ 助成事業費支出	14,807,189	14,807,189	0	0
⑥ 保健衛生思想普及事業費支出	15,151,058	15,151,058	0	0
⑦ 管理費支出	82,301,741	82,301,741	0	0
⑧ 診療事業費支出	204,001,901	0	204,001,901	0
⑨ 法人税等	3,200,700	0	3,200,700	0
事業活動支出計	732,417,215	525,214,614	207,202,601	0
事業活動収支差額	△ 34,561,217	△ 36,712,568	14,835,390	△ 12,684,039
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	150,000,000	150,000,000	0	0
投資活動収入計	150,000,000	150,000,000	0	0
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	200,000,000	200,000,000	0	0
② 投資有価証券購入支出	49,101,340	49,101,340	0	0
③ 他会計への繰入金支出	0	0	12,684,039	△ 12,684,039
投資活動支出計	249,101,340	249,101,340	12,684,039	△ 12,684,039
投資活動収支差額	△ 99,101,340	△ 99,101,340	△ 12,684,039	12,684,039
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	0
2. 財務活動支出				
①リース債務返済支出	6,539,204	4,387,853	2,151,351	0
財務活動支出計	6,539,204	4,387,853	2,151,351	0
財務活動収支差額	△ 6,539,204	△ 4,387,853	△ 2,151,351	0
IV 予備費支出				
当期収支差額	△ 140,201,761	△ 140,201,761	0	0
前期繰越収支差額	214,746,089	67,589,017	147,157,072	0
次期繰越収支差額	74,544,328	△ 72,612,744	147,157,072	0

収支計算書

平成22年4月 1日から平成23年3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	136,678,000	136,678,320	△ 320	
基本財産配当収入	136,678,000	136,678,320	△ 320	
② 特定資産運用収入	5,500,000	3,999,924	1,500,076	
特定資産利息収入	5,500,000	3,999,924	1,500,076	
③ 事業収入	400,000,000	318,291,533	81,708,467	
低額集団健診事業収入	400,000,000	318,291,533	81,708,467	
集団健診事業収入	389,100,000	307,235,033	81,864,967	受託企業の健診項目の減少
産業医委嘱収入	10,900,000	11,056,500	△ 156,500	
④ 補助金等収入	15,000,000	15,000,000	0	
地方公共団体補助金収入	15,000,000	15,000,000	0	
⑤ 雑収入	3,510,000	1,848,230	1,661,770	
利息収入	10,000	438	9,562	
投資有価証券運用収入	3,200,000	1,831,546	1,368,454	
雑収入	300,000	16,246	283,754	
⑥ 他会計からの繰入金収入	21,260,000	12,684,039	8,575,961	
事業活動収入計	581,948,000	488,502,046	93,445,954	
2. 事業活動支出				
① 研究事業費支出	4,570,000	4,079,965	490,035	
研究費支出	776,455	411,035	365,420	(注1)
学会費支出	1,134,500	1,134,500	0	(注1)
諸会費支出	1,000,000	953,550	46,450	
旅費交通費支出	583,655	583,655	0	(注1)
研修会謝礼金支出	150,000	122,221	27,779	
通信費支出	14,370	14,370	0	(注1)
消耗品費支出	11,020	11,020	0	(注1)
図書購入費支出	800,000	763,262	36,738	
雑支出	100,000	86,352	13,648	
② 低額集団健診事業費支出	432,950,000	406,967,991	25,982,009	
給料手当支出	123,449,373	123,449,373	0	(注2)
基準外給料支出	1,300,000	1,017,131	282,869	
賞与支出	39,500,000	35,803,000	3,697,000	
臨時雇賃金支出	14,651,200	14,651,200	0	(注2)
福利厚生費支出	28,000,000	26,726,250	1,273,750	
旅費交通費支出	5,761,950	5,761,950	0	(注2)
通信費支出	2,700,000	2,370,102	329,898	
業務委託費支出	164,352	164,352	0	(注2)
什器備品費支出	546,716	546,716	0	(注2)
割賦・機器リース料支出	26,860,000	19,692,086	7,167,914	
支払利息支出	540,000	355,810	184,190	
消耗品費支出	11,000,000	9,869,474	1,130,526	
検査・材料費支出	54,273,423	45,461,735	8,811,688	(注2)
修繕費支出	14,000,000	12,923,643	1,076,357	

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
印刷製本費支出	5,000,000	4,935,670	64,330	
水道光熱費支出	4,500,000	4,240,174	259,826	
借室料支出	64,400,000	64,390,464	9,536	
保険料支出	100,000	76,269	23,731	
租税公課支出	10,000,000	9,649,508	350,492	
共益費支出	20,650,000	20,648,496	1,504	
清掃費支出	952,986	952,986	0	(注2)
雑支出	4,600,000	3,281,602	1,318,398	
③ 健診報告懇話会事業費支出	700,000	541,085	158,915	
会場費支出	470,115	381,200	88,915	(注3)
講演謝礼金支出	60,000	0	60,000	
旅費交通費支出	380	380	0	(注3)
通信費支出	10,000	0	10,000	
雑支出	159,505	159,505	0	(注3)
④ 巡回無料健診費支出	3,000,000	1,365,585	1,634,415	
旅費交通費支出	30,000	10,710	19,290	
通信費支出	700	700	0	(注4)
検査・材料費支出	600,000	367,175	232,825	
雑支出	2,369,300	987,000	1,382,300	(注4)
⑤ 助成事業費支出	24,400,000	14,807,189	9,592,811	
医学研究助成金支出	20,000,000	10,500,000	9,500,000	
渡航助成金支出	3,000,000	3,000,000	0	
助成選考謝礼金支出	570,000	555,555	14,445	
旅費交通費支出	3,216	1,340	1,876	(注5)
印刷製本費支出	250,000	195,300	54,700	
通信費支出	76,784	76,784	0	(注5)
雑支出	500,000	478,210	21,790	
⑥ 保健衛生思想普及事業費支出	21,460,000	15,151,058	6,308,942	
セミナー費支出	15,400,000	13,233,589	2,166,411	
広報費支出	4,000,000	198,700	3,801,300	
通信費支出	450,000	386,825	63,175	
印刷製本費支出	1,560,635	1,282,579	278,056	(注6)
雑支出	49,365	49,365	0	(注6)
⑦ 管理費支出	86,910,000	82,301,741	4,608,259	
役員報酬支出	27,716,914	27,143,000	573,914	(注9)
給料手当支出	13,080,625	13,063,761	16,864	(注7)
基準外給料支出	50,000	14,766	35,234	
賞与支出	4,000,000	3,182,307	817,693	
福利厚生費支出	5,000,000	4,282,565	717,435	
会議費支出	1,500,000	929,803	570,197	
旅費交通費支出	1,350,000	963,560	386,440	
交際費支出	1,000,000	868,212	131,788	
通信費支出	644,282	644,282	0	(注9)
什器備品費支出	1,559,375	1,559,375	0	(注7)
割賦・機器リース料支出	1,142,554	1,142,554	0	(注9)
支払利息支出	60,000	1,980	58,020	
消耗品費支出	998,307	998,307	0	(注9)
修繕費支出	1,200,000	794,820	405,180	

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
印刷製本費支出	1,600,000	985,711	614,289	
水道光熱費支出	600,000	551,241	48,759	
借室料支出	10,660,000	10,463,480	196,520	
業務委託費支出	9,228,372	9,228,372	0	(注8)
保険料支出	30,000	0	30,000	
租税公課支出	673,460	673,460	0	(注9)
共益費支出	2,909,254	2,909,254	0	(注9)
清掃費支出	135,229	135,229	0	(注9)
雑支出	1,771,628	1,765,702	5,926	(注8)
事業活動支出計	573,990,000	525,214,614	48,775,386	
事業活動収支差額	7,958,000	△ 36,712,568	44,670,568	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	3,000,000	150,000,000	△ 147,000,000	
減価償却引当資産取崩収入	3,000,000	100,000,000	△ 97,000,000	
減価償却引当預金取崩収入	3,000,000	100,000,000	△ 97,000,000	債券購入へ
公益事業基金取崩収入	0	50,000,000	△ 50,000,000	
生活習慣病予防事業基金預金取崩収入	0	50,000,000	△ 50,000,000	債券購入へ
投資活動収入計	3,000,000	150,000,000	△ 147,000,000	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	23,000,000	200,000,000	△ 177,000,000	
減価償却引当資産取得支出	23,000,000	150,000,000	△ 127,000,000	
減価償却引当預金取得支出	5,000,000	50,000,000	△ 45,000,000	
減価償却引当債券購入支出	18,000,000	100,000,000	△ 82,000,000	三越伊勢丹HD社債購入
公益事業基金支出	0	50,000,000	△ 50,000,000	
生活習慣病予防事業基金債券支出	0	50,000,000	△ 50,000,000	ノムラファイナンスN.V. 購入
② 固定資産取得支出	3,000,000	0	3,000,000	
建物造作建設支出	3,000,000	0	3,000,000	
③ 投資有価証券購入支出	0	49,101,340	△ 49,101,340	
債券30購入支出	0	49,101,340	△ 49,101,340	利付国債(第61回)購入
投資活動支出計	26,000,000	249,101,340	△ 223,101,340	
投資活動収支差額	△ 23,000,000	△ 99,101,340	76,101,340	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
① リース債務返済支出	8,500,000	4,387,853	4,112,147	
リース債務返済支出	8,500,000	4,387,853	4,112,147	
財務活動支出計	8,500,000	4,387,853	4,112,147	
財務活動収支差額	△ 8,500,000	△ 4,387,853	△ 4,112,147	
IV 予備費支出	5,698,000	0	5,698,000	
当期収支差額	△ 29,240,000	△ 140,201,761	110,961,761	
前期繰越収支差額	29,240,000	67,589,017	△ 38,349,017	
次期繰越収支差額	0	△ 72,612,744	72,612,744	

収支計算書(一般会計)に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、貯蔵品、前払費用、買掛金、未払金、未払消費税等、預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は下記2に記載のとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	62,847,885	△ 86,786,003
未収入金	26,326,619	25,262,752
貯蔵品	474,706	640,099
前払費用	9,179,919	10,590,985
小計	98,829,129	△ 50,292,167
買掛金	5,902,059	3,527,831
未払金	20,021,981	15,505,852
未払消費税等	2,832,987	1,097,685
預り金	2,483,085	2,189,209
小計	31,240,112	22,320,577
次期繰越収支差額	67,589,017	△ 72,612,744

3 科目間の流用及び予備費の使用について

(1) 科目間の流用(注1~)

(注1) 予算科目のうち研究事業費支出—研究費支出より223,545円を研究事業費支出—学会費支出、旅費交通費支出、通信費支出、消耗品費支出へ流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
研究事業費支出-学会費支出	1,000,000	134,500	1,134,500
研究事業費支出-旅費交通費支出	500,000	83,655	583,655
研究事業費支出-通信費支出	10,000	4,370	14,370
研究事業費支出-消耗品費支出	10,000	1,020	11,020
研究事業費支出-研究費支出	1,000,000	△ 223,545	776,455

(注2) 予算科目のうち低額集団健診事業費支出—検査・材料費支出より2,726,577円、低額集団健診事業費支出—給与手当と支出、旅費交通費支出、臨時雇賃金支出、業務委託費支出、什器備品費支出、清掃費支出へ流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
低額集団健診事業費支出—給与手当支出	122,200,000	1,249,373	123,449,373
低額集団健診事業費支出—旅費交通費支出	5,700,000	61,950	5,761,950
低額集団健診事業費支出—臨時雇賃金支出	13,500,000	1,151,200	14,651,200
低額集団健診事業費支出—業務委託費支出	0	164,352	164,352
低額集団健診事業費支出—什器備品費支出	500,000	46,716	546,716
低額集団健診事業費支出—清掃費支出	900,000	52,986	952,986
低額集団健診事業費支出—検査・材料費支出	57,000,000	△ 2,726,577	54,273,423

(注3) 予算科目のうち健診報告懇話会—会場費支出より59,885円、健診報告懇話会—旅費交通費支出、雑支出へ流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
健診報告懇話会—旅費交通費支出	0	380	380
健診報告懇話会—雑支出	100,000	59,505	159,505
健診報告懇話会—会場費支出	530,000	△ 59,885	470,115

(注4) 予算科目のうち巡回無料健診支出—雑支出より700円、巡回無料健診支出—通信費支出へ流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
通信費支出	0	700	700
巡回無料健診支出—雑支出	2,370,000	△ 700	2,369,300

(注5) 予算科目のうち助成事業費支出—旅費交通費支出より6,784円を助成事業費支出—通信費支出へ流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
助成事業費支出—通信費支出	70,000	6,784	76,784
助成事業費支出—旅費交通費支出	10,000	△ 6,784	3,216

(注6) 予算科目のうち保健衛生思想普及事業費支出—印刷製本費支出より39,365円を保健衛生思想普及事業費支出—雑支出へ流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
保健衛生思想普及事業費支出—雑支出	10,000	39,365	49,365
保健衛生思想普及事業費支出—印刷製本費支出	1,600,000	△ 39,365	1,560,635

(注7) 予算科目のうち管理費支出—給与手当支出より1,234,298円を管理費支出—什器備品費支出へ流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
管理費支出—什器備品費支出	240,000	1,319,375	1,559,375
管理費支出—給与手当支出	14,400,000	△ 1,319,375	13,080,625

(注8) 予算科目のうち管理費支出—雑支出より1,228,372円を管理費支出—業務委託費支出へ流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
管理費支出—業務委託費支出	8,000,000	1,228,372	9,228,372
管理費支出—雑支出	3,000,000	△ 1,228,372	1,771,628

(注9) 予算科目のうち管理費支出—役員報酬支出より783,086円を管理費支出—通信費支出、割賦・機器リース料支出、消耗品費支出、租税公課支出、共益費支出、清掃費支出へ流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
管理費支出—通信費支出	600,000	44,282	644,282
管理費支出—割賦・機器リース料支出	840,000	302,554	1,142,554
管理費支出—消耗品費支出	900,000	98,307	998,307
管理費支出—租税公課支出	530,000	143,460	673,460
管理費支出—共益費支出	2,720,000	189,254	2,909,254
管理費支出—清掃費支出	130,000	5,229	135,229
管理費支出—役員報酬支出	28,500,000	△ 783,086	27,716,914

収支計算書

平成22年4月 1日から平成23年3月31日まで

特別会計

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 事業収入	224,000,000	221,122,193	2,877,807	
診療報酬収入	224,000,000	221,122,193	2,877,807	
② 雑収入	500,000	915,798	△ 415,798	
事業活動収入計	224,500,000	222,037,991	2,462,009	
2. 事業活動支出				
① 診療事業費支出	201,510,000	204,001,901	△ 2,491,901	
給料手当支出	60,000,000	62,096,114	△ 2,096,114	
基準外給料支出	1,500,000	1,622,577	△ 122,577	
賞与支出	20,000,000	19,228,000	772,000	
臨時雇賃金支出	15,000,000	15,995,243	△ 995,243	
退職給付支出	0	329,000	△ 329,000	
福利厚生費支出	14,500,000	14,513,943	△ 13,943	
旅費交通費支出	2,000,000	1,969,480	30,520	
通信費支出	300,000	227,131	72,869	
什器備品費支出	240,000	379,227	△ 139,227	
割賦・機器リース料支出	8,740,000	8,690,236	49,764	
支払利息支出	80,000	122,189	△ 42,189	
消耗品費支出	2,700,000	2,488,554	211,446	
修繕費支出	3,000,000	2,708,792	291,208	
検査・材料費支出	11,000,000	10,278,412	721,588	
薬品費支出	10,000,000	7,313,687	2,686,313	
印刷製本費支出	800,000	419,727	380,273	
水道光熱費支出	2,270,000	2,107,678	162,322	
借室料支出	32,010,000	32,006,640	3,360	
業務委託費支出	4,000,000	8,436,747	△ 4,436,747	
保険料支出	100,000	76,268	23,732	
租税公課支出	1,600,000	1,518,532	81,468	
共益費支出	10,270,000	10,263,768	6,232	
清掃費支出	900,000	917,285	△ 17,285	
雑支出	500,000	292,671	207,329	
② 他会計への繰入金支出	21,260,000	0	21,260,000	
一般会計への繰入金支出	21,260,000	0	21,260,000	
③ 法人税等	0	3,200,700	△ 3,200,700	
法人税・都民税支出	0	3,200,700	△ 3,200,700	
事業活動支出計	222,770,000	207,202,601	15,567,399	
事業活動収支差額	1,730,000	14,835,390	△ 13,105,390	

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
① 他会計への繰入金支出	0	12,684,039	△ 12,684,039	
一般会計への繰入金支出	0	12,684,039	△ 12,684,039	
投資活動支出計	0	12,684,039	△ 12,684,039	
投資活動収支差額	0	△ 12,684,039	12,684,039	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
①リース債務返済支出	1,730,000	2,151,351	△ 421,351	
リース債務返済支出	1,730,000	2,151,351	△ 421,351	
財務活動支出計	1,730,000	2,151,351	△ 421,351	
財務活動収支差額	△ 1,730,000	△ 2,151,351	421,351	
IV 予備費支出	0	-	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	147,157,072	147,157,072	0	
次期繰越収支差額	147,157,072	147,157,072	0	

収支計算書(特別会計)に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、貯蔵品、前払費用、買掛金、未払金、未払消費税等、未払法人税等を含めている。
 なお、前期末及び当期末残高は下記2に記載のとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目				前期末残高	当期末残高				
現	金	預	金	130,970,983	133,214,616				
未	収	入	金	21,889,091	20,209,761				
貯		蔵	品	366,777	321,192				
前	払	費	用	3,656,528	3,421,990				
小			計	156,883,379	157,167,559				
買		掛	金	1,097,427	511,245				
未		払	金	7,440,667	6,092,327				
未	払	消	費	税	等	532,213	206,215		
未	払	法	人	税	等	656,000	3,200,700		
小			計	9,726,307	10,010,487				
次	期	繰	越	収	支	差	額	147,157,072	147,157,072